



たかはし浩司 町政活動報告

第13号

令和7年2月

発行者/たかはし浩司後援会 〒515-0317 多気郡明和町大字池村1011番地
TEL0596-52-7707 FAX0596-52-6930 <https://www.kouzi-takahashi.com> takahashi@cks-fss.jp

たかはし浩司
ホームページ



Facebook



Instagram



後援会
ご入会申込



立春の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

令和6年元日には能登半島地震が発生し、現在も被災地では多くの方々が困難な状況に直面されています。また、10月の総選挙では自民党が少数与党となり、石破茂氏が新たに総理大臣に就任しました。さらに、国際情勢ではトランプ氏のアメリカ大統領就任が注目を集めました。

明和町では、2月に世古口哲哉前町長が急逝され、3月に下村由美子氏が新町長に就任、7月には高木謙治氏が新副町長に着任し、新体制での町政運営が進み始めました。

昨年は波乱と大きな変化の一年でしたが、本年もたかはし浩司は地域の発展と住民福祉の向上に取り組んでまいります。本年も引き続きご指導とご支援をお願い申し上げます。

たかはし浩司後援会
会長 渡邊 裕

- 令和6年9月議会で物価高騰対策などの補正予算や、いつきのみや歴史体験館の管理条例の一部改正の議案など21件を可決し、また決算特別委員会では、令和5年度の決算が承認されました。
- 令和6年12月議会で、手話言語条例の制定、漁港管理条例の一部改正、ふるさと寄附事業の補正予算など、15件の議案が可決されました。

12月の定例会では、「高木謙治新副町長の役割と町政運営」そして「役場での働きやすい職場環境を整えることによる高い住民サービスの提供」について一般質問を行いました。

- ① 町長が一見知事に副町長の選任条件として明和町出身・在住を含めなかった理由を問いました。
答【下村町長】町が直面する課題解決を最優先し、町内外を問わず、特に財政運営に関する豊富な知見、優れた調整力、県との連携を円滑に進める力を兼ね備えた方を起用することが重要と考え、これらの条件を満たし、即戦力として調整に貢献できる方をお願いした。
- ② 副町長が着任時に述べた「財政再建」「新庁舎建設」「新規事業への挑戦」の考え方を問いました。
答【高木副町長】町の財政再建プランの「持続可能な財政運営」と「歳入確保の推進」「歳出抑制の推進」という基本方針に立ち返って歳入・歳出の両面からの取り組みを徹底する必要があり、歳入面ではふるさと納税の確保、受益者負担の原則など、歳出面では既存事業の見直し、維持管理コストの削減を進める。まず財政再建に道筋をつけることが最優先で、その先に新庁舎建設や新規事業への挑戦が可能になると考える。
- ③ 町民満足度の向上に必要な住民間の公平、公正、平等性の実現について町長の見解を問いました。
答【下村町長】町行政に安心感や信頼感を持ち、自分たちの暮らしが豊かになっていると住民が実感できることが満足度の高いサービスであり、そのためには公平性、公正性、平等性を確保することが極めて重要だと認識している。
- ④ 役場で働く職員の職場環境を改善する一環として、ハラスメント対策について問いました。
答【下村町長】町民の満足度向上には、職員が働きやすい活気ある職場環境の整備が必要と考える。そのため、ハラスメント問題を重要な課題として真摯に受け止め、相談体制の充実、ハラスメント防止研修、アンケートの実施を通じて問題の早期発見と適切な対応に努める。さらに、職員一人ひとりがやりがいを持って働き続けられるよう、サポート体制と職場環境の改善に取り組む。



R6.7.7
ふれあいキャンプ場
「安全祈願祭」



R6.8.3
大淀ぎおん祭・花火大会
(写真は広報めいわ令和6年9月号より)



R6.8.16
志貴の精霊相撲



R6.9.16
いつきのみや観月会



めいわトピックス

令和6年7月から12月の議会と行政の主な動き等を取り上げました



● 決算特別委員会(9月)では・・・ ●

◆令和5年度の事務・事業などの取り組みについて質問と要望を行いました。

- ① 私有地に設置されている防火水槽および老朽化しているものを調査・整理し、町全体での水利(消火栓等)を確保するよう要望しました。
 答 町全体の防災力の強化のため、防火水槽を含めた水利整備の検討を進めていきたい。
- ② 中学校の保健室では、毎月累計で950人も生徒の利用があり、町独自の養護助教諭の配置が必要です。併せて養護教諭の配置基準の見直しを県教育委員会に働きかけるよう要望しました。
 答 現在中学校では、養護教諭1名と養護助教諭1名の2名で対応しているが、人員の充実などを含めて検討したい。

● 田んぼダムについて ●

台風や集中豪雨時に排水路や川への大量の雨水流入を防ぐため、水田を一時的に貯留池として利用する「田んぼダム」の実証実験が行われました。この実験は令和6年7月から11月にかけて実施され、そのデータを基に来年度も改良と実験が予定されています。



(完成予想図)



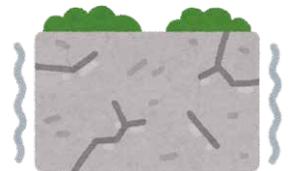
(12月の進捗)

● 明和北小学校建設工事について ●

昨年末には1階部分のコンクリート打設工事が半分以上完了し、年明けからは2階部分も工事が始まりました。これにより、来年4月の開校に向けて工事が順調に進行しています。
(←写真は明和町のホームページから)

● 倒壊の危険があるブロック塀の撤去について ●

長年問題となっていた地域の道路沿いにある倒壊の危険があるブロック塀の撤去に向けた取り組みが始まりました。これは放置されて近隣に悪影響を与えている土地や建物を適切に管理をする国の「管理不全土地制度」を活用して行われています。



● 9月と12月の議会の各委員会では・・・ ●

総務産業委員会と教育厚生委員会での報告等をまとめました。

令和7年4月から・・・

- 役場のこども課内に「こども」の総合支援窓口の「明和町こども家庭センター」が設置されます。
- 地震等の災害対策で耐震シェルターを自宅に設置する際に補助を行う制度がスタートします。
- 不登校等の児童生徒を受け入れる教育支援センター「さくら教室」が旧修正小学校に開設されます。

※詳しくは役場の担当課までお問い合わせ下さい。



R6.10.13
有爾中かんこ踊り



R6.11.3
国史跡齋宮跡
「平安絵巻」



R6.11.16
齋宮きららの森 植樹祭



R6.12.23
プロの世界へ サッカー教室